

MITSUBA

バックアライ

BackAllright C-09B

取付・取扱説明書

D-002-056-B

このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
この取付・取扱説明書は、商品の正しい使い方や取り付け方、使用上の注意について記載しております。
本書を最後までお読み頂き、商品を正しく取り付けし、お使いください。
また、本書が必要になったときすぐに利用出来るように大切に保管してください。

商品に関するお問い合わせ窓口

株式会社ミツバサンコーワ カスタマーサポートセンター ☎ 0277-30-5802
〒379-2312 群馬県みどり市笠懸町久宮 289-3

商品及び弊社に関する情報はこちらからご覧頂けます。



パソコン・スマートフォン
からはこちら

<http://www.mskw.co.jp>

携帯電話からはこちら

ミツバサンコーワモバイルサイト
<http://www.mskw.co.jp/mobile/>

調査及び修理をご依頼の前に

- 本書裏面の「故障かなと思ったら」を参考にして、故障かどうか確認してください。
故障とお考えの前に、お買い上げの販売店様または弊社カスタマーサポートセンターまでご相談ください。
お取り付け上の誤りや、改造により故障及び損傷した場合は、修理対応出来ませんのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- 弊社では、商品の調査時の代品等の貸し出しは、一切おこなっておりません。また、調査時に発生した工賃等の諸費用は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

1 安全上の注意事項

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。また、法律に違反することを意味します。

- 本品は、運転の補助装置として後方障害物の存在をブザー音で知らせるもので、運転者の注意義務を軽減するものではありません。バックする際は、後方、周囲の安全を十分確認してください。また、本品を使用中に発生した事故に対し、本品の動作の有無にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

- 本品は、自動車用の後方障害物感知・警報装置です。違う目的で使用すると、取り付けした機器の故障やセンサーの誤動作の原因となります。
- 本品は、12V車専用です。24V車には、お取り付け出来ません。また、24V/12V変換器（DC-DC変換器）を使用して取り付けしないでください。誤動作の原因となります。
- 本品を1台の車に、2セット以上取り付けしないでください。誤動作します。また、純正のバックセンサー、他社のバックセンサーと併用しないでください。誤動作の原因となります。
- 電磁式バックホーンやネオン管などの発信機内蔵品を取り付けた車には、本品を取り付けしないでください。誤動作の原因となります。
- センサーを車の前側（フロント）に取り付けしないでください。エンジンノイズが誤動作の原因となります。
- 本品をリアエンジン車※ ミッドシップエンジン車※※ に取り付けしないでください。エンジンノイズが誤動作の原因となります。
リアエンジン車※・・・エンジンを車の後部に搭載した車 ミッドシップエンジン車※※・・・エンジンを車の中央部（運転席後方）に搭載した車
- 検電ランプ、テスターなどで配線先を確認する場合を除き、バッテリーのマイナス端子を外してから作業をしてください。外さないで作業すると、配線がショートし、火災・故障の原因となります。なお、バッテリーのマイナス端子を外す前に、車の取扱説明書またはディーラー等で外し方を確認してください。車両搭載装置に影響がある場合があります。また、不用意に車両部品の脱着等を行なうと、車両搭載装置に影響を及ぼす場合がありますので、車両の取扱説明書や整備マニュアル、またはカーディーラー等で、車両部品の脱着方法や車両搭載装置への影響等を、事前に確認してください。
- 本品の配線接続時は、付属のコネクターのフタを確実にロックしてください。
コネクターの金属部が車体の金属部などに接触すると、ショートし、火災・故障の原因となります。
- センサーコードの切断や延長は行なわないでください。誤動作の原因となります。
- 本品を分解、塗装、改造しないでください。また、本品を落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。
- 本品のコントロールユニットは、防水仕様ではありません。必ず、水のかからない場所に設置してください。故障の原因となります。
トラック等、コントロールユニットを車室内、トランク内に設置出来ない車には、お取り付け出来ません。
- 本品の感知・警報距離は、センサーと障害物の距離です。お取り付け後、必ず感知・警報範囲を確認してからご使用ください。
なお、感知・警報範囲の確認は、車を動かして行なわないでください。思わぬ事故の原因となります。確認は車のエンジンを止め、障害物を車に近づけて確かめてください。
また、感知・警報範囲や動作の確認を長時間行なうとバッテリーの消耗が激しくなります。ご注意ください。
- 本品の不具合については、弊社製造上の欠陥を除き責任を負いかねますので、取り扱いに十分ご注意ください。

2 使用上の注意事項

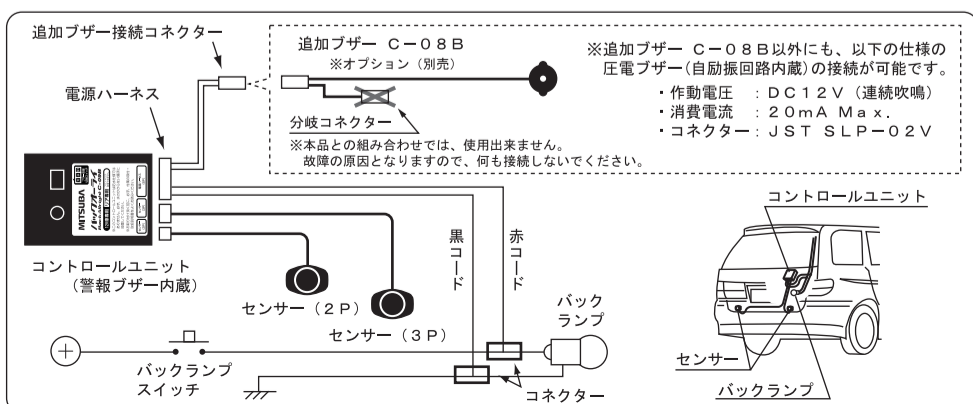
- 次のような状態で使用すると誤動作する場合があります。
 - ・AT車でシフトのRレンジへの切り替えをすばやく繰り返した場合。
→ ゆっくりと切り替えし直すと正常に戻ります。
 - ・センサーに泥、雪などの異物が付着したり、凍結した場合。
 - ・砂利道、凸凹道、坂道、草むらなどで使用した場合。
 - ・高温（+70℃以上）や低温（-20℃以下）の環境で使用した場合。
 - ・豪雨または、ホコリのひどい風が吹いている場合。
 - ・超音波、無線機の電波、電磁ノイズなどの外来ノイズを受けた場合。
（外来ノイズは、バイク、発電機などの簡易エンジンや電動モーターから発生します。）
- 障害物に反射してセンサーに戻る超音波の量が少なく、感知しない場合があります。

感知しにくい物（イメージ図）



- センサーに強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。
また、自動洗車機やウォーターガンによる洗車のあとは、センサーの破損やはがれがないか確認し、正常に動作することを確認してからご使用ください。

3 システム概要（取り付けレイアウト）



4 仕様

※商品の仕様及び外観は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●主な仕様

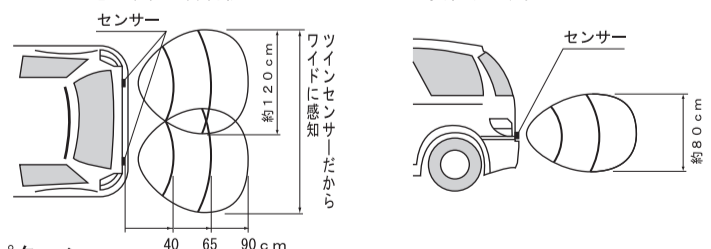
定格電圧	DC12V 自動車用	
消費電流	待機時	20mA以下
	警報時（ブザー作動時）	60mA以下
使用電圧範囲	DC9V～DC16V	
使用温度範囲	-20℃～70℃（ただし、センサー部の凍結なきこと）	
保存温度範囲	-30℃～80℃	

●各部寸法

コントロールユニット	外形寸法：W58×D77×H24mm
センサー	外形寸法：W35×D26×H14mm コード長：約2m
電源ハーネス	赤・黒コード長：約1m

●センサーの感知範囲（イメージ図）

※センサーの感知範囲は障害物の形や大きさによって変わります。



●警報パターン

センサーと障害物との距離	ブザーの警報パターン
90cm ～ 65cm	ピ・・・ピ・・・ピ・・・ 長い間隔の断続音
65cm ～ 40cm	ピ・ピ・ピ・ピ・ピ・ピ 短い間隔の断続音
40cm ～ 0cm	ピ————— 連続音

※左右のセンサーの感知距離に差がある場合、より近い方を優先して警報します。
※感知距離は、センサーの中心からの水平方向距離を示します。
※障害物が近すぎる場合、警報が不安定になる場合があります。

●『追加ブザー C-08B』※オプション（別売）について

本品のコントロールユニットの設置環境により、標準の警報ブザーの音が聞き取りにくい場合に、追加するブザーです。
任意の位置に警報ブザーを設置することが可能となります。（コード長：約3m）

<<保証規定>>

保証範囲や条件など詳しい内容についてご説明します。必ずお読みください。

お買い上げ頂きました本品は、弊社の厳しい品質管理のもとで製造されたものです。万一、製造上の不具合がありました場合には、この保証書に示す条件に従って無償で修理・交換させていただきます。

修理は、お買い上げ店に保証書・不具合内容を提示の上、ご依頼ください。

- この保証書は保証期間が満了したときに効力を失うものとします。また保証期間内であっても、商品が日本国外に持ち出されたときは、効力を失うものとします。(This warranty is valid only in Japan.)
- この保証書は、破損または紛失した場合でも再発行は致しませんので、大切に保管してください。

次に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象となりませんので、ご注意ください。

- 本品を分解・改造した形跡が認められた場合。(本品のシール類をはがした場合も含む)
- お客様の故意または過失による故障と認められた場合。
- 地震・台風・水害などの天災ならびに火災・事故・その他紛争などによる損傷が認められた場合。
- 取付・取扱説明書に記載されている諸事項が守られなかったために不具合が発生した場合。
- 保証書の提示がないか、あるいは記載事項の不足、文字の書き換えが認められた場合。
- 販売店様の押印またはレシートが無い場合。

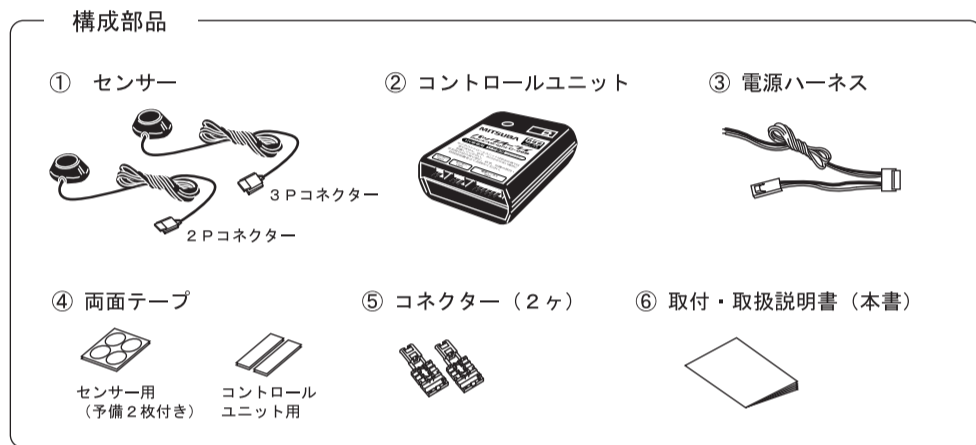
キリトリセン

5 取り付け方法

●事前準備

安全のため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。外さずに作業するとショートする恐れがあります。なお、バッテリーのマイナス端子を外す前に、車の取扱説明書またはディーラー等で外し方を確認してください。車両搭載装置に影響がある場合があります。また、不用意に車両部品の脱着等を行なうと、車両搭載装置に影響を及ぼす場合がありますので、車両の取扱説明書や整備マニュアル、またはカーディーラー等で、車両部品の脱着方法や車両搭載装置への影響等を、事前に確認してください。

お取り付け頂く前に、下記の構成部品がすべて揃っていることを確認してください。



1 センサーの仮固定

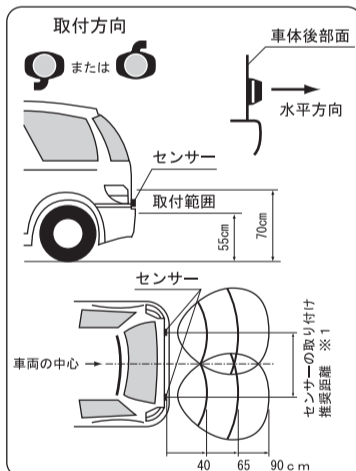
- 注意 センサーコードの切断や延長は行なわないでください。誤動作の原因となります。
- 注意 センサーコードの配線時、コードとコネクタの接続部を引っ張らないでください。断線の原因となります。

(1) センサーの取付位置を決めてください。

センサーの取付範囲・方向は右図を参考に決定してください。

※1: 車両の中心を2つのセンサーで約40cmの距離(連続音)を感知させたい場合のセンサー同士の取り付け間隔は約65cm~70cmを推奨致します。ただし、センサーに対して外側が感知し難くなりますので、動作を確認しながら最終的な取り付け位置を決定してください。

- 注意 地面、背面スペアタイヤ、バンパー等を感じしないように注意してください。



(2) センサーを仮固定してください。

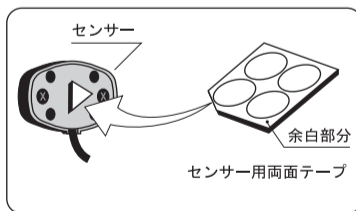
センサー用両面テープの余白部分を利用し、センサーを仮固定してください。

- 注意 貼り付ける部分のゴミ、油分、水分を中性洗剤や、きれいな乾いた布で取り除いてください。

(3) センサーコードを配線してください。

センサーコードをトランクルームや車室内に確実に引き込みます。車体の隙間などを利用してコードが垂れ下がらないように配線してください。

- 注意 コード引き込み部から車室内に浸水しないよう注意してください。またコードが直接金属に触れる箇所はコードの被覆が傷付かないように、テープなどを巻いて十分保護してください。



2 各コードの接続

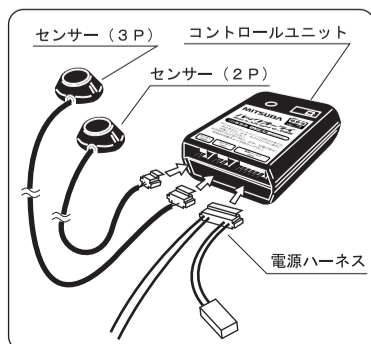
- 注意 電源ハーネスの接続時、コードとコネクタの接続部を引っ張らないでください。断線の原因となります。
- 注意 各コネクタの抜き挿しは、必ずコネクタを持って行ってください。コードを引っ張ると断線の原因となります。

(1) 電源ハーネスをコントロールユニットに接続してください。

電源ハーネスの6Pコネクタをコントロールユニットの6Pカバーへ接続してください。

(2) センサーコードをコントロールユニットに接続してください。

センサーコードの2Pコネクタ、3Pコネクタをコントロールユニットの2Pカバー、3Pカバーへ各々接続してください。



3 電源ハーネスの接続

注意

- 検電ランプ、テスターなどで配線先を確認する場合を除き、バッテリーのマイナス端子を外してから作業をしてください。外さないで作業すると配線がショートし火災・故障の原因となります。外しかたについては、車両搭載装置に影響を及ぼす場合がありますので、車両の取扱説明書や整備マニュアルまたはカーディーラー等で事前に確認してください。
- 本品の配線接続時は、付属のコネクタのフタを確実にロックしてください。コネクタの金属部が車体の金属部などに接触すると、ショートし、火災・故障の原因となります。

(1) バックランプのソケットを探してください。

通常、バックランプの内側位置にあるカバー、内張り等を外すとバックランプのソケットが見えるようになります。

(2) 電源ハーネス(赤コード)の接続先を探してください。

バックランプに接続されているコードで、シフトレバーをバック(R)の位置にすると電圧が約12Vとなるコードをテスターまたは検電ランプで探してください。

(3) 電源ハーネス(黒コード)の接続先を探してください。

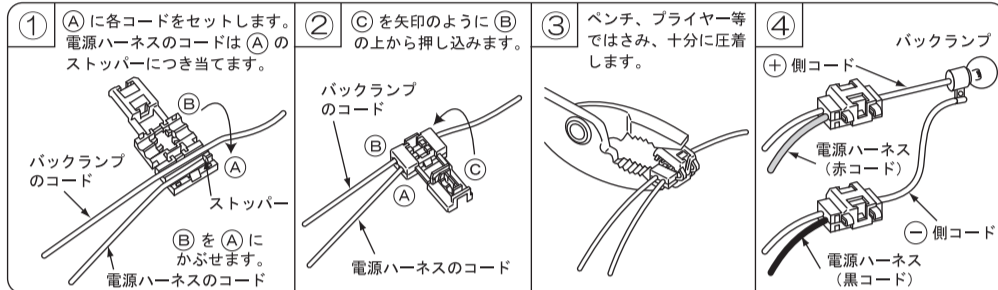
バックランプに接続されているコードで、シフトレバーをバック(R)の位置にしても電圧が0Vとなるコードを探してください。

- 注意 電源ハーネス(黒コード)はボディーアースしても構いません。ただし、塗装されている金属部分への接続や不確実な接続は、動作不良の原因となります。ご注意ください。

(4) 電源ハーネス(赤コード・黒コード)をそれぞれ付属のコネクタで接続してください。

上記(2)で探したコードに電源ハーネス(赤コード)を、(3)で探したコードに電源ハーネス(黒コード)を付属のコネクタで確実に接続してください。

コネクタの接続方法



4 コントロールユニットの取り付け

注意

- コントロールユニットは、防水仕様ではありません。必ず水のかからない場所に設置してください。水がかかると故障の原因となります。

(1) コントロールユニットの取付位置を決めてください。

- 注意 高温・多湿にならない場所や、荷物などの積み下ろしの際に邪魔にならない場所を選んでください。

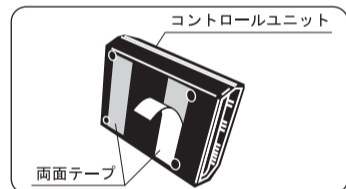
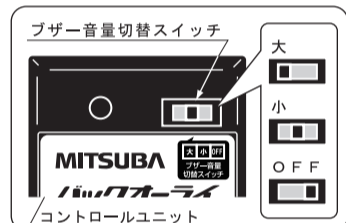
(2) ブザー音量を設定してください。

コントロールユニットのブザー音量切替スイッチでブザーの音量を大または小に設定してください。

(3) コントロールユニットを固定してください。

コントロールユニットの裏側に付属の両面テープを貼り付け、しっかり固定してください。

- 注意 貼り付ける部分のゴミ、油分、水分を中性洗剤やきれいな乾いた布で取り除いてください。



5 動作確認・センサーの本固定

注意

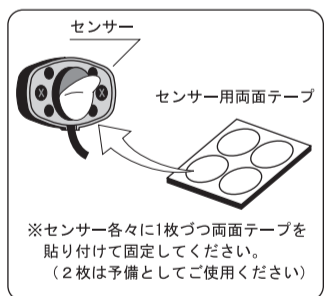
- 本品の感知・警報距離は、センサーと障害物の距離です。お取り付け後、必ず感知・警報範囲を確認してから使用してください。なお、感知・警報範囲の確認は、車を動かして行なわないでください。思わぬ事故の原因となります。確認は車のエンジンを止め、障害物を車に近づけて確かめてください。また、感知・警報範囲や動作の確認を長時間行なうと、バッテリーの消耗が激しくなります。ご注意ください。

(1) お車のキースイッチをONにして、シフトレバーをバック(R)の位置にしてください。

(2) 約1秒後にブザーが1回作動し、センサーが感知を開始したことをお知らせします。

(3) 障害物を車体に近づけ、センサーの感知・警報範囲を確認してください。

(4) 上記動作に問題ないことを確認の上、必ず付属の両面テープ1枚を貼り付け、センサーをしっかり固定してください。



6 故障かなと思ったら

下表の確認を行なってください。確認を行なっても正常に動作しない場合は本書表面に記載の弊社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

症状	確認項目
シフトレバーの位置をバック(R)にしても作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ハーネスの各コードの接続状態を確認してください。 ●車両のバックランプヒューズが切れていないか確認してください。 ●コントロールユニットのブザー音量切替スイッチがOFFになっていないか確認してください。
障害物がないのに警報する。	<ul style="list-style-type: none"> ●センサーが凍結、または雪・泥などが付着していないか確認してください。 ●地面や背面スペアタイヤ等を感じしていないか確認してください。 ●外来ノイズを発するような装置が近くにないか確認してください。

●お願い【センサー・コントロールユニットを単品購入頂く際の注意事項】

本品のセンサーとコントロールユニットの組み合わせを変更する場合には、調整が必要となります。センサーまたはコントロールユニットを単品購入頂く際は、組み合わせをご使用頂くコントロールユニットまたはセンサーを添えて、本品をご購入の販売店にてご注文ください。